

4 エレクトリカル

変更概要	4-2
ライティング	4-2
センターストップランプ	4-2
脱着構成図	4-2
ワイパー & ウォッシャー	4-3
準備品	4-3
単体点検	4-3
リヤワイパーコントロールリレー	4-3

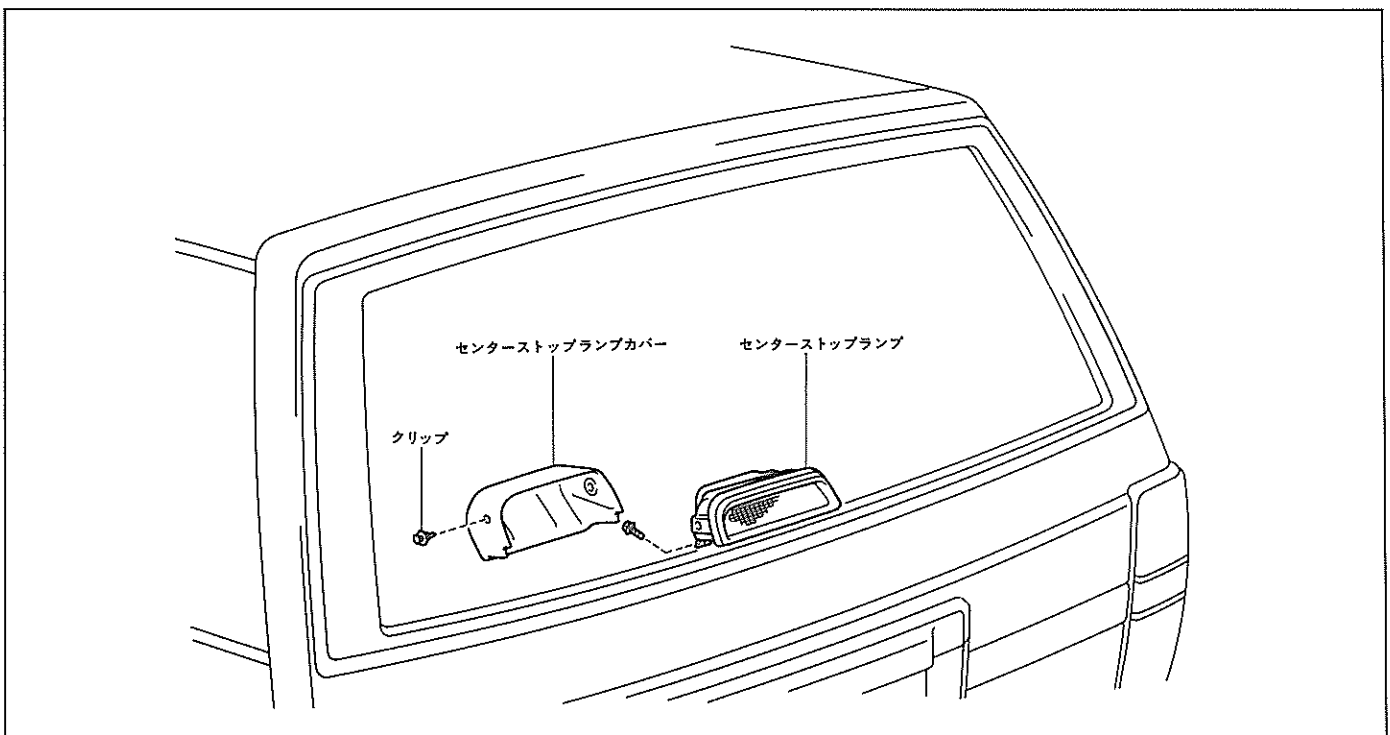
変更概要

トヨタ マークIIワゴン修理書／追補版（品番62107, 1988年9月発行）およびトヨタ マークIIバン修理書／追補版（品番62112, 1988年11月発行）より以下の内容を変更しました。

- 1 センターストップランプの修理要領の追加
- 2 リヤワイパーリレーの点検要領の変更

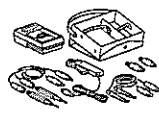

ライティング センターストップランプ

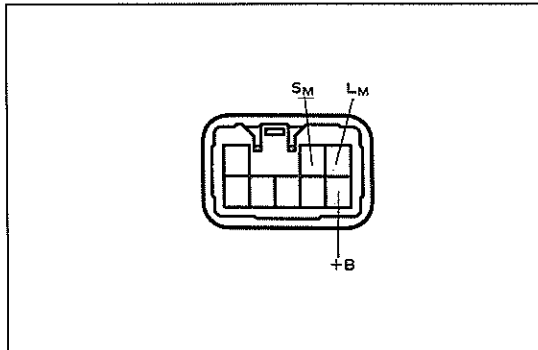
脱着構成図



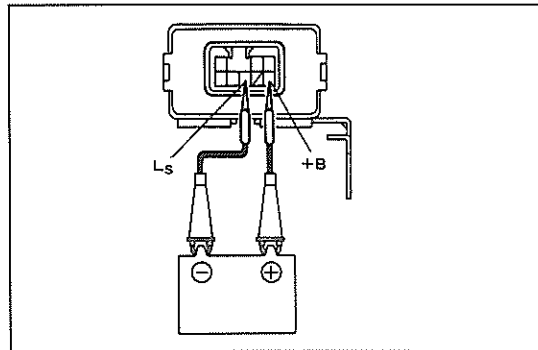
H0519

ワイパー & ウォッシャー 準備品

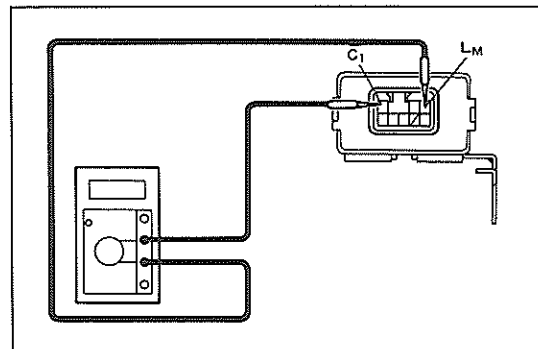
計 器		09082-00012 トヨタエレクトリカルテスター	リヤワイパーコントロールリレー点検用
		09083-00060 ミニテストリード	



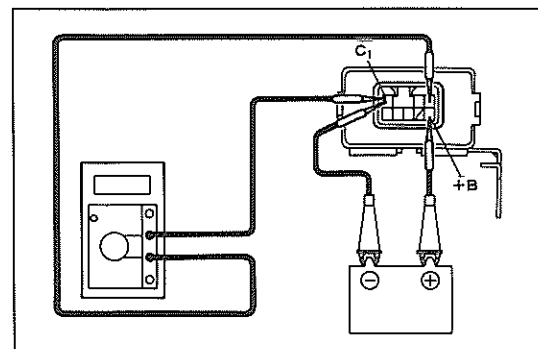
e-8-2-B



H8511



H8512



H8513

単体点検

リヤワイパーコントロールリレー

1 導通点検

(1) リレー各端子間の導通を点検する。

基準 +B端子↔LM端子間……導通なし

SM端子↔LM端子間……導通あり

(2) リレーの+B端子にバッテリーの⊕, Ls端子にバッテリーの⊖を接続し、導通を点検する。

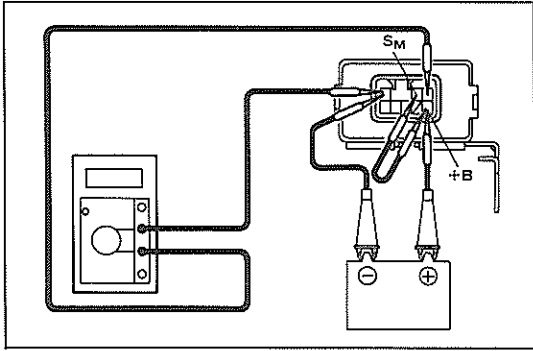
基準 +B端子↔LM端子間……導通あり

SM端子↔LM端子間……導通なし

2 間欠作動点検

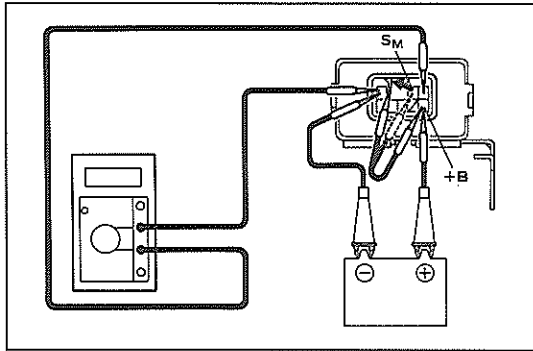
(1) テスターをDC-VレンジにしてLM端子にテスターの⊕, C1端子にテスターの⊖を接続する。

(2) +B端子にバッテリーの⊕, C1端子にバッテリーの⊖を接続する。(内部リレーはON状態)



H8514

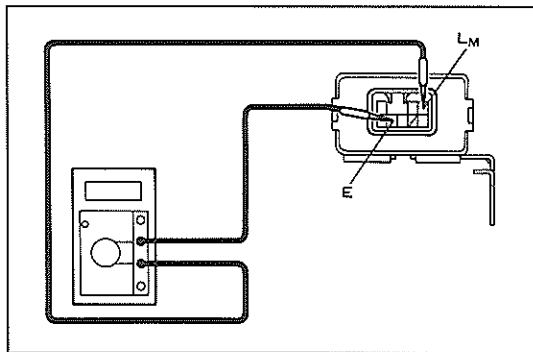
- (3) (2)の状態 で +B 端子と S_M 端子間を約 5 秒間短絡する。(内部リレーは ON→OFF 状態)



H8515

- (4) +B 端子と S_M 端子の短絡を解除したとき, L_M 端子↔C₁ 端子間の電圧変化を点検する。

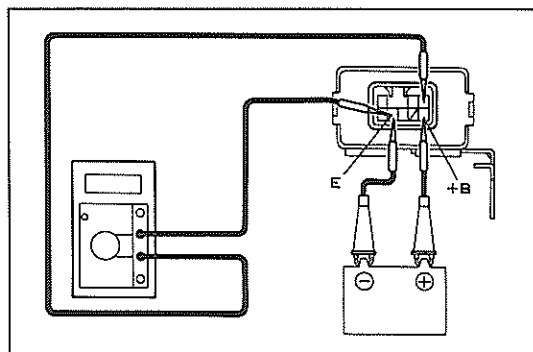
基準 短絡を解除したとき 0V で, その後 9~15 秒後に 10~14V



H8516

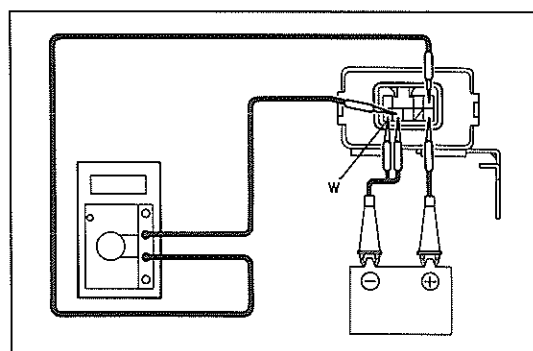
3 ウォッシャー連動作動点検

- (1) テスターを DC-V レンジにして L_M 端子にテスターの ⊕, E 端子にテスターの ⊖ を接続する。



H8517

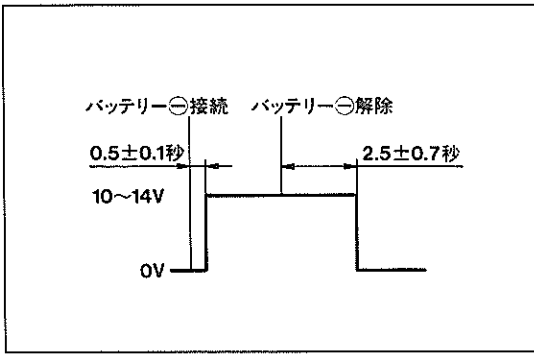
- (2) +B 端子にバッテリーの ⊕, E 端子にバッテリーの ⊖ を接続する。



H8518

- (3) (2)の状態 で W 端子にバッテリーの ⊖ を約 1 秒間接続したとき, L_M 端子↔E 端子間の電圧変化を点検する。

基準 図に示す



H0560

MEMO